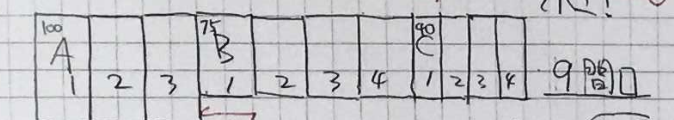
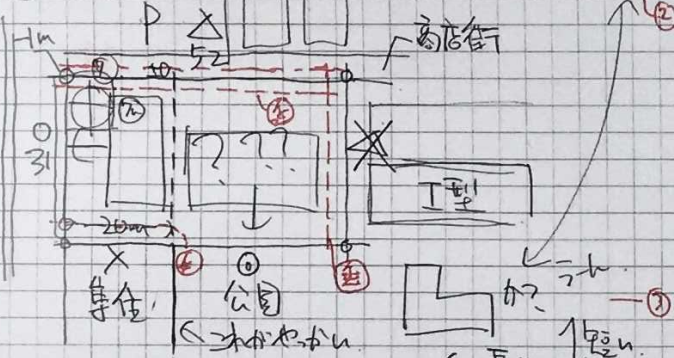


ES00

① 住戸数40

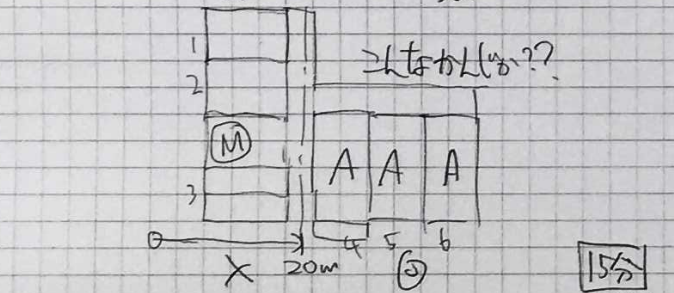


② 敷地



③ 付帯設備

- ④ 集合室 80m² OK
- ⑤ 地下駐車場!
- ⑥ 市民センター 2F 300, 1F 300+60x2 450, 2nd? 500



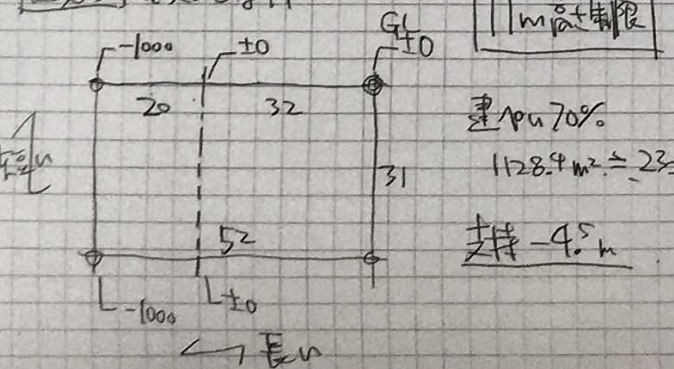
ES01 Concept

- ・レベル差あり
- ・二神木公園(北西7m角)
- ・入戸別
- ・市民センター併設基準で考える
- (8) 地階も2方向必要
- 敷地・1F・2Fの概略図

ES02 要求図書

- ① 床高、地階高、断地下P、2D部分全宅で切断

ES03 敷地条件

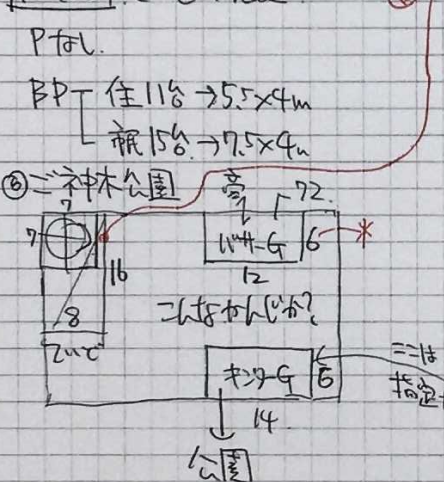


ES04 建築物

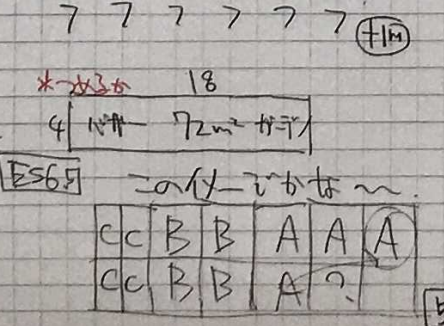
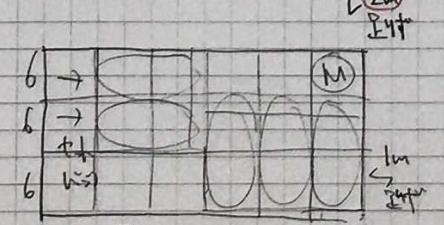
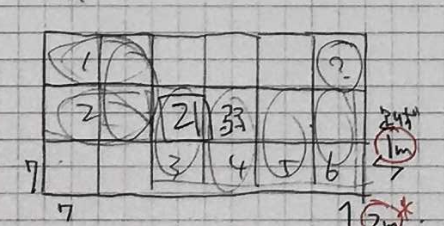
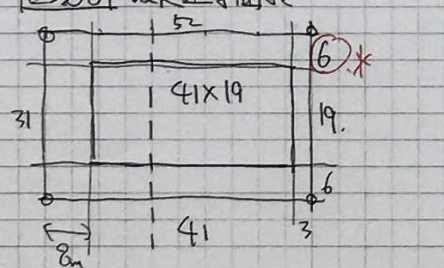
3F 地階除き 2200m² ⑩
B1F 面積除き ④
LDD ②

全戸の階のEV階段、3F下は非
仮にA100, B75, C40m²とすると
100x3+75x4+40x4=760
非住戸1/2階分は 2200-760=1440
仮に7x7とすると 2922 (1/2F)

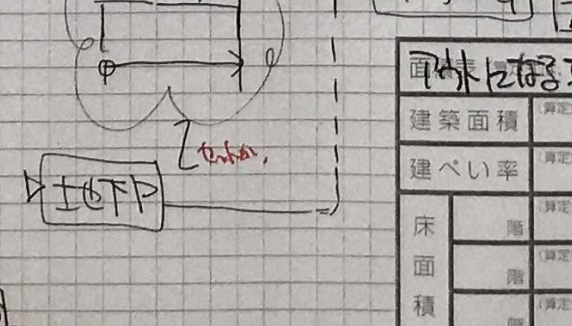
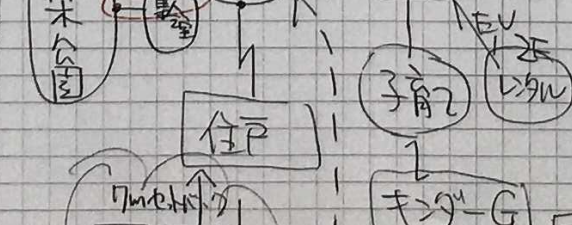
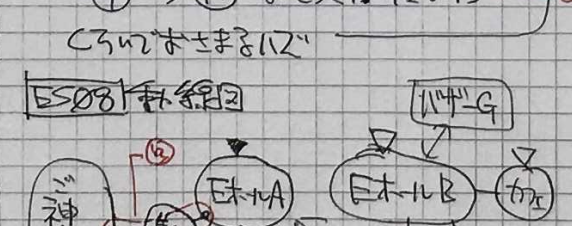
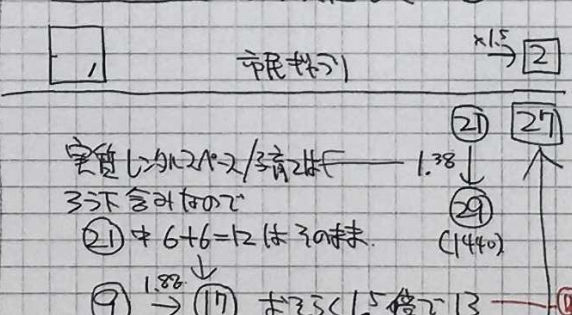
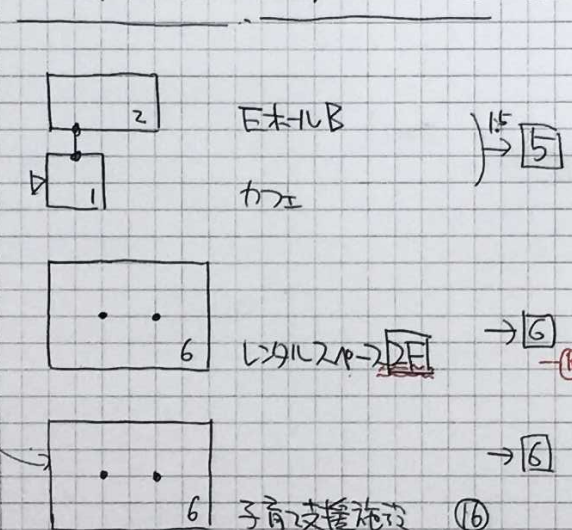
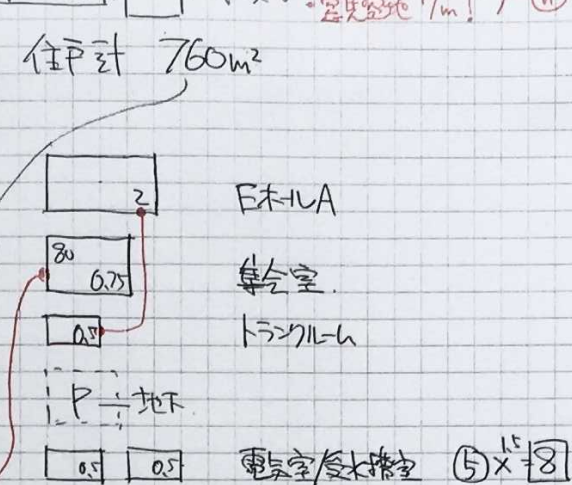
ES05 その他の施設



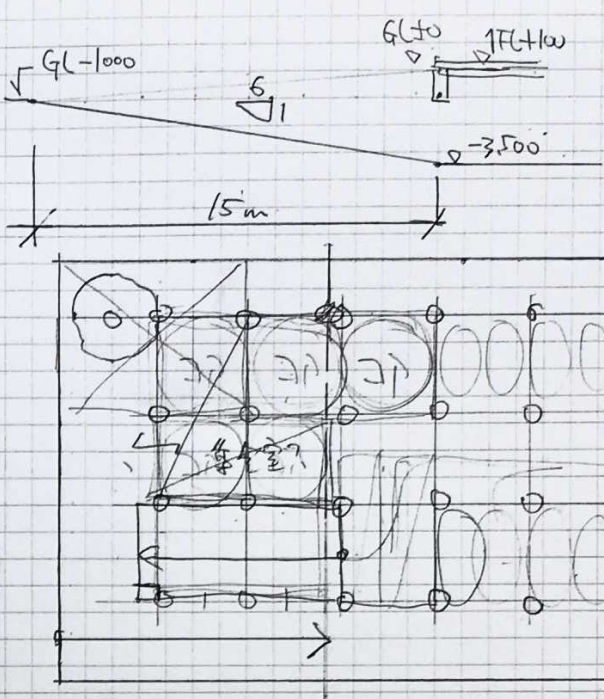
ES06 最大建築面積



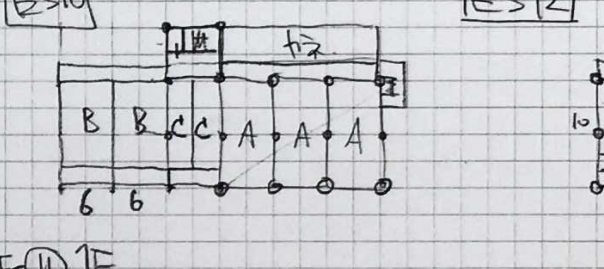
ES07 住戸



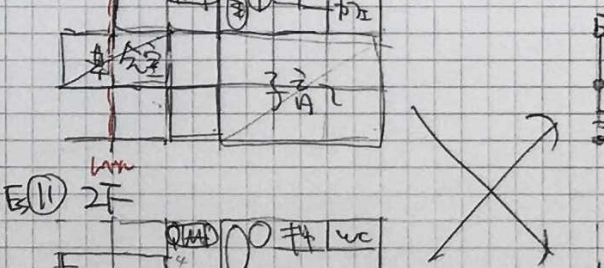
地下Pステーション



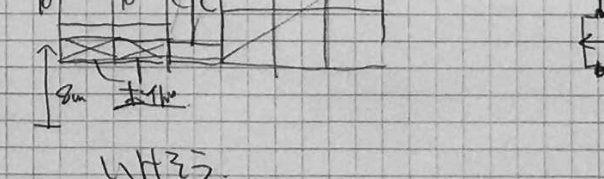
ES10



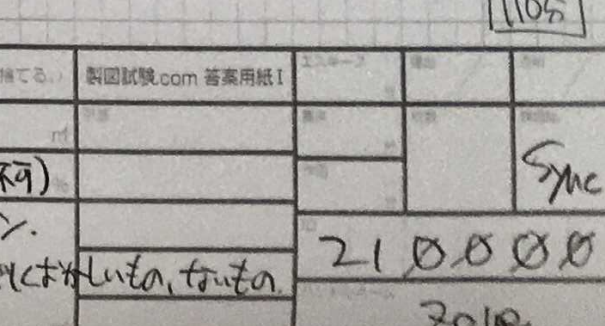
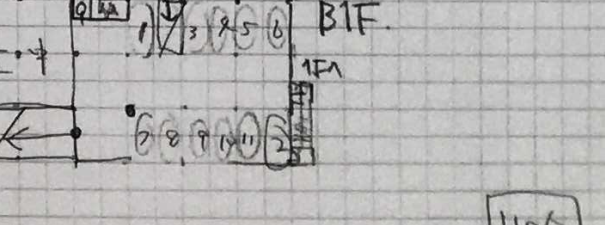
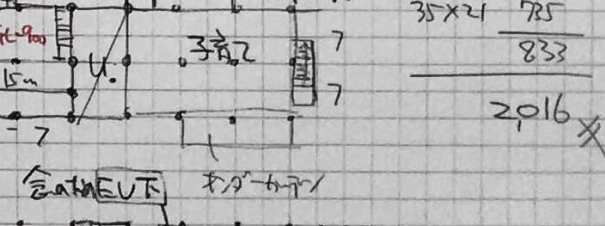
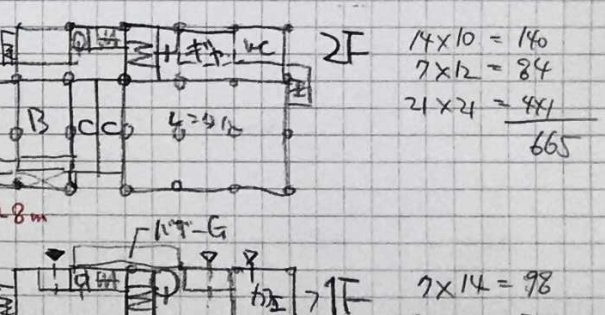
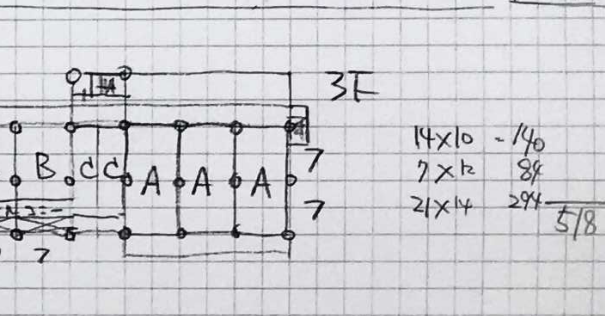
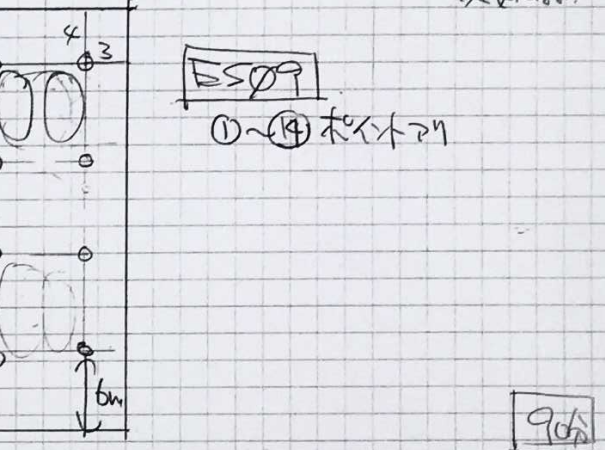
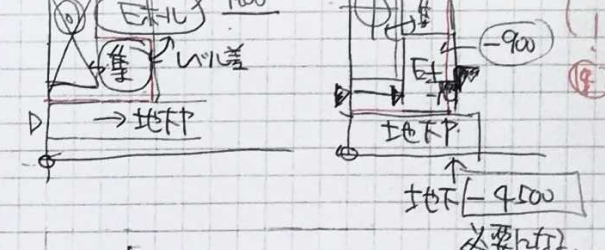
ES11 1F



ES11 2F

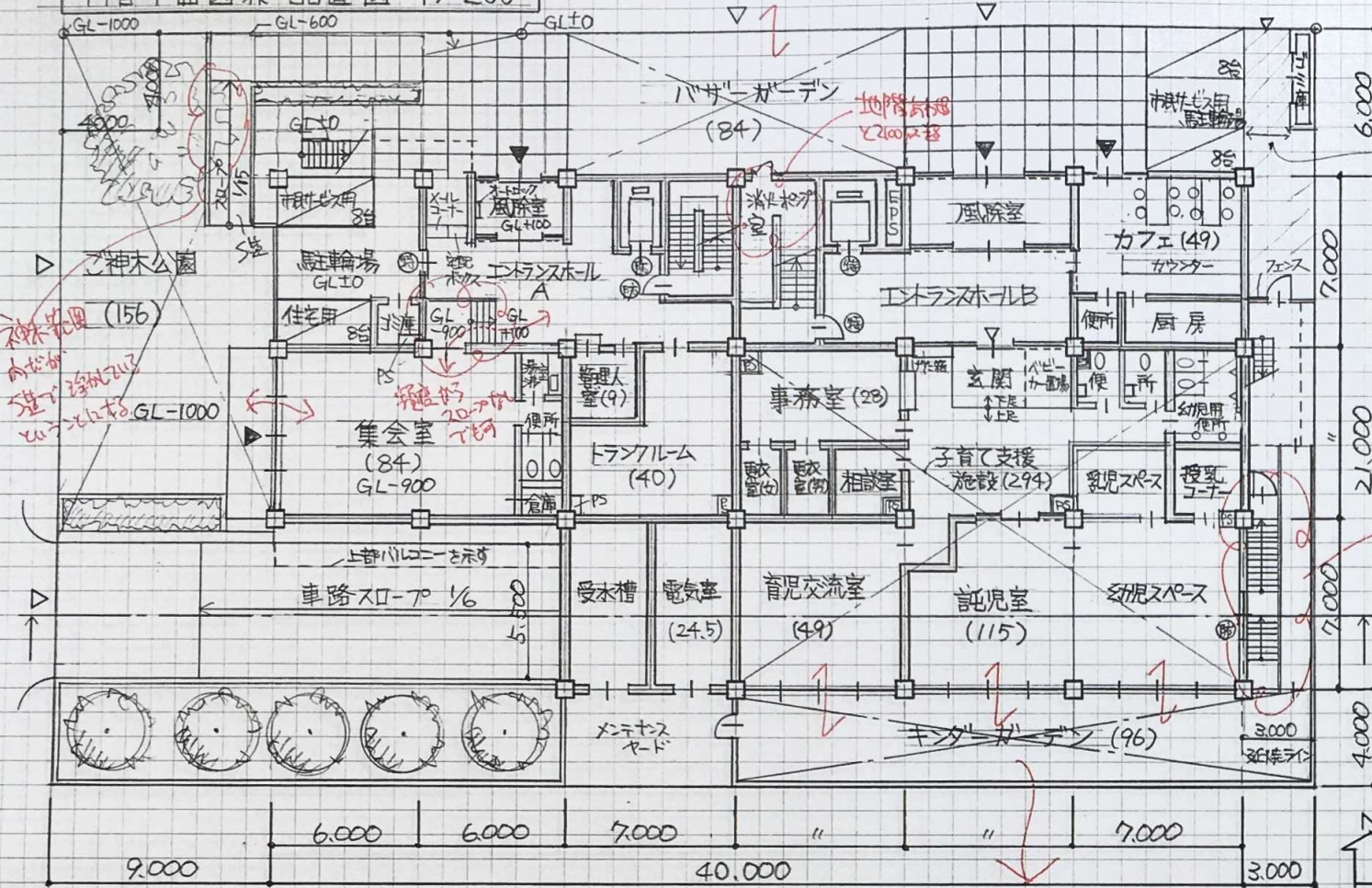


ES09

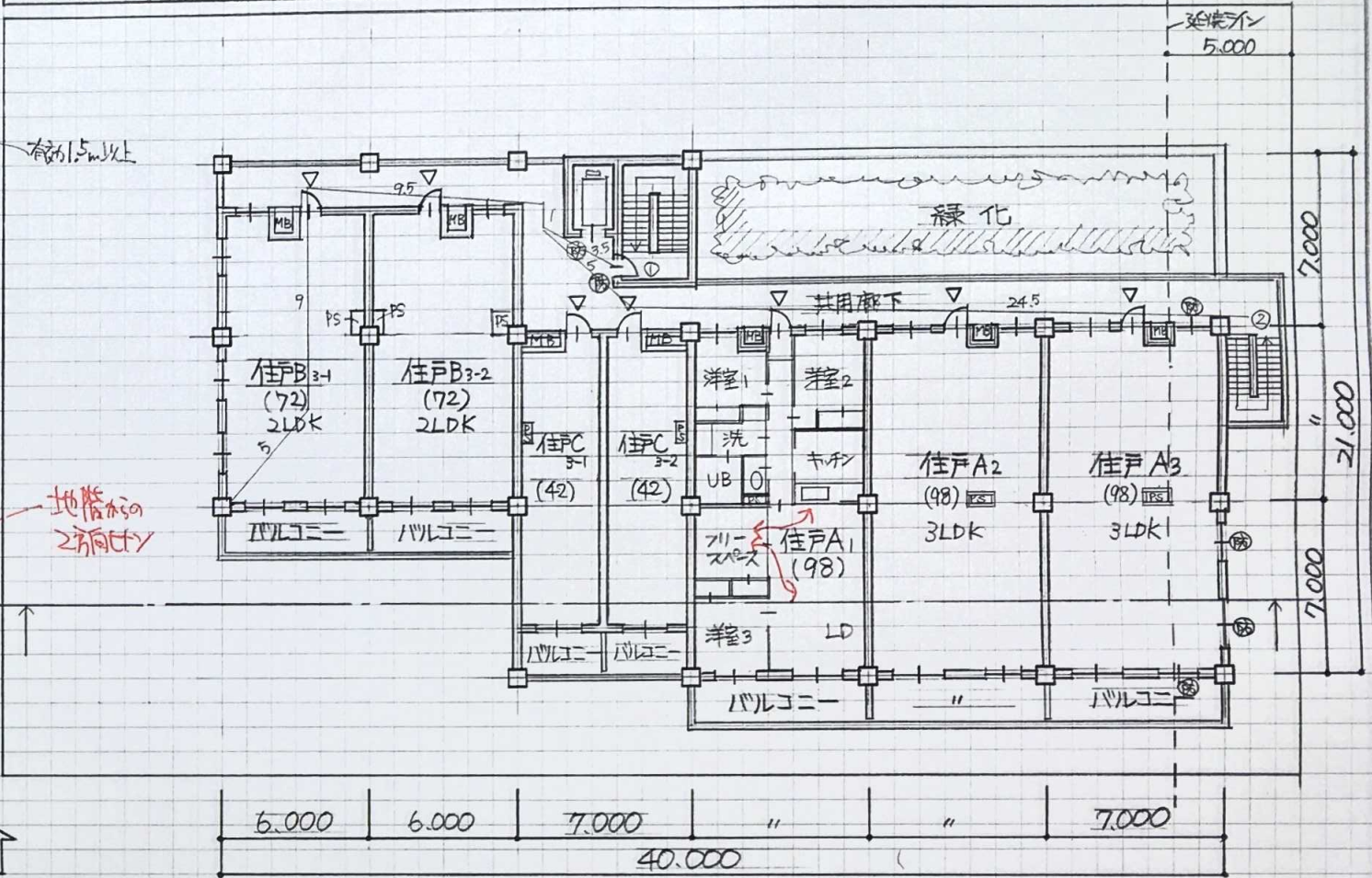


資料に添った項目		解答欄	採点欄
建築面積	① 延焼ライン、換気(2室1室)、2方向、11m高さ		
建ぺい率	② 20m西側のバルコニー7m幅、バルコニー(バルコニー)		
床面積	③ 二神木公園、集合室、Eホール、Eホールの間、Eホールの間		
床面積	④ 馬主車場の一部にchと2つの、バルコニーはバルコニー、バルコニー		
床面積	⑤ 上下階不致、室2F、		

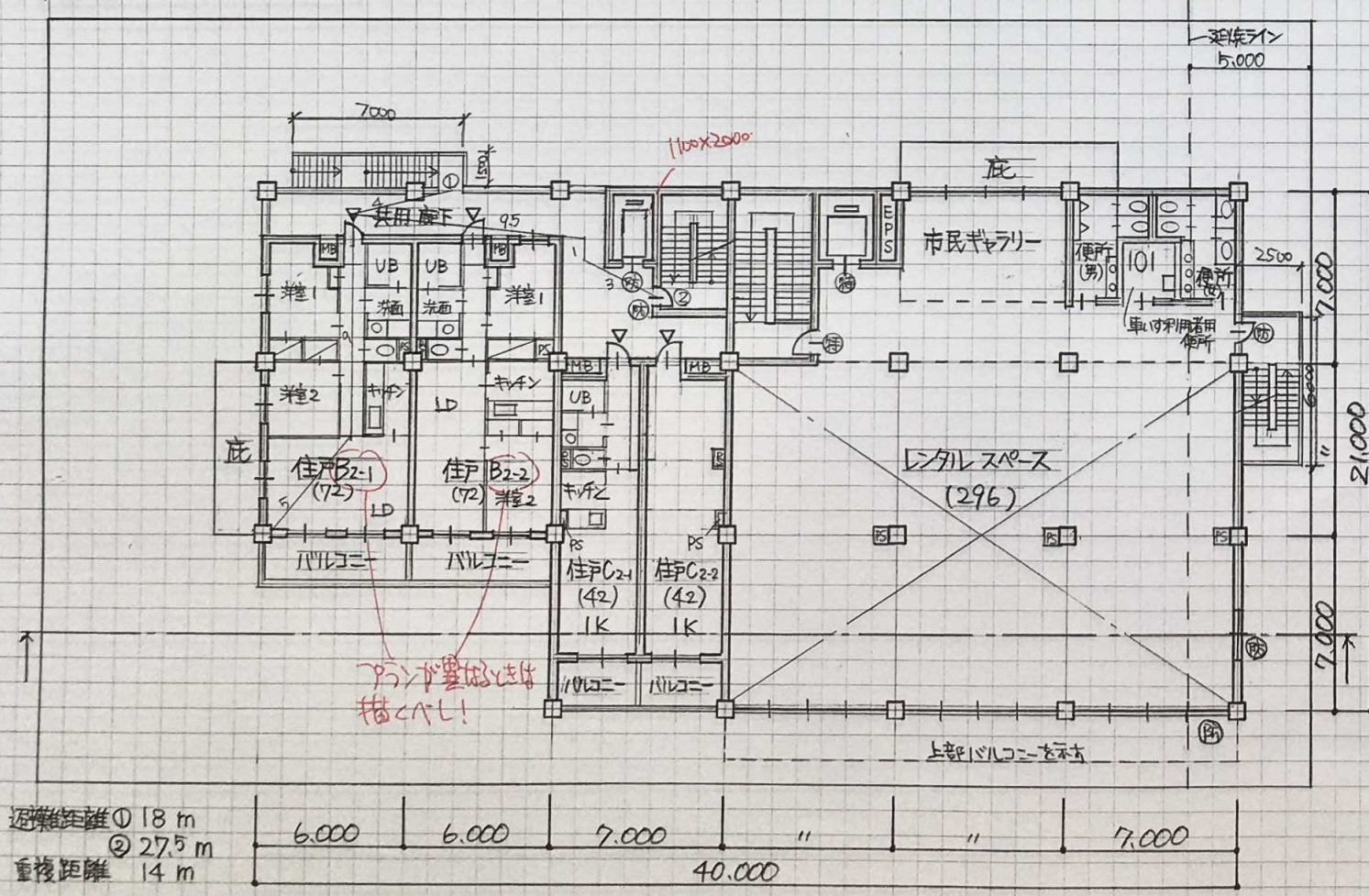
1階平面図兼配置図 1/200



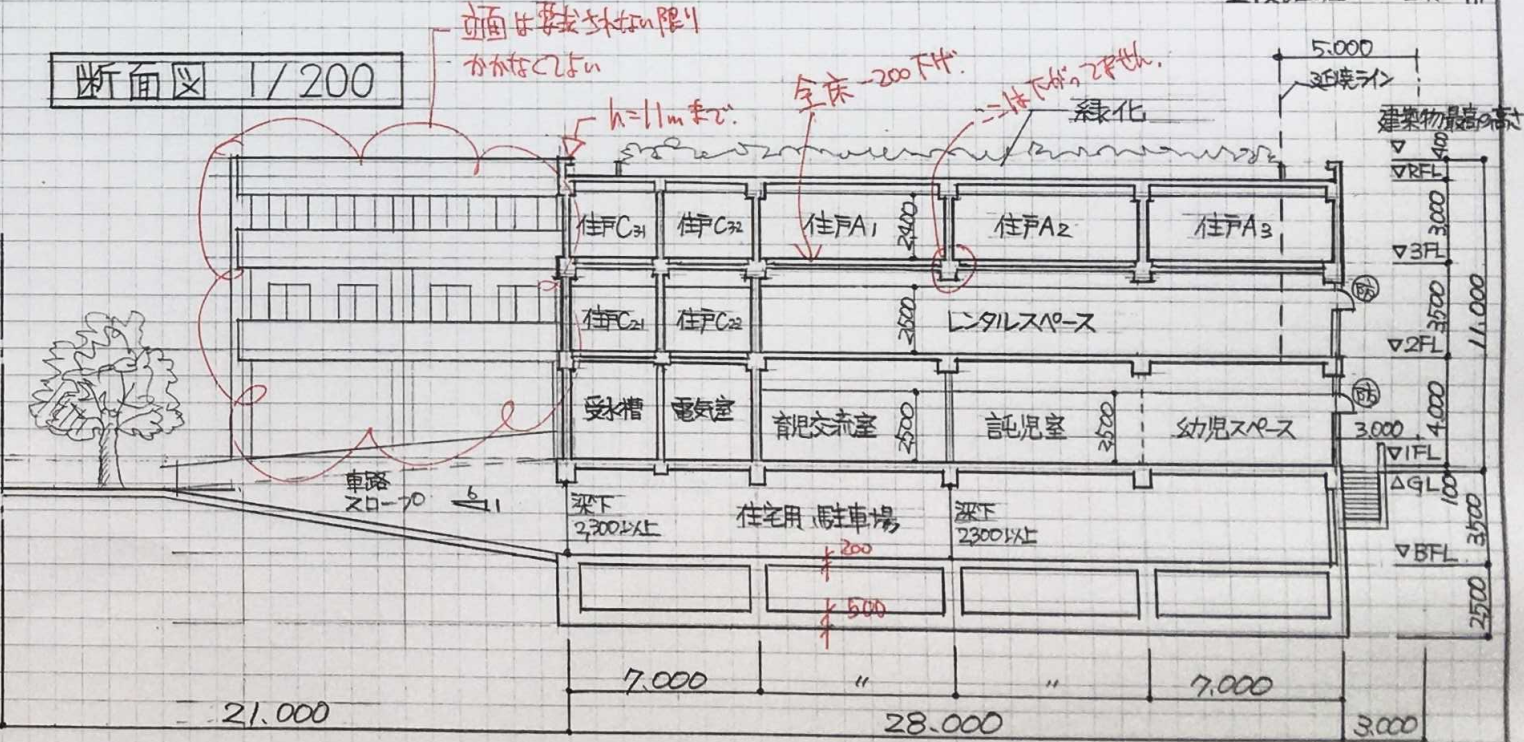
3階平面図 1/200



2階平面図 1/200



断面図 1/200



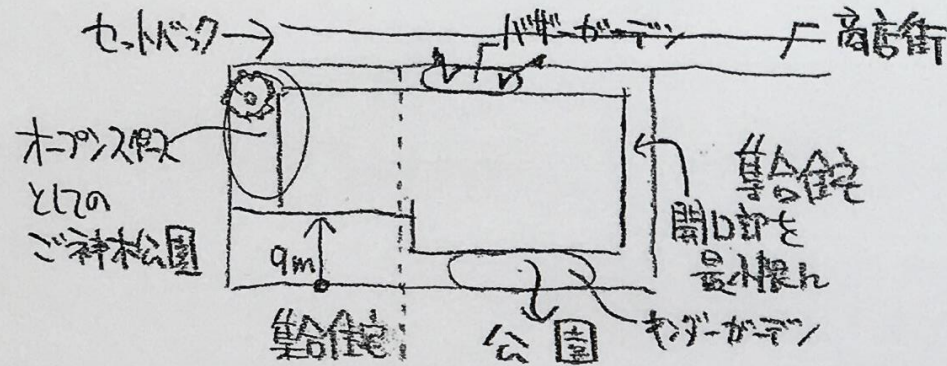
面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)			製図試験.com 答案用紙1	
建築面積	算定式	結果	算定式	結果
	12×15 + 7×0.5 + 28×21 + 9×1 + 1.5×4 + 21×1	807.5		
建ぺい率	算定式	結果		
	807.5 / 1,612	50.1		
床面積	3階	算定式	結果	1,947
	2階	算定式	結果	
	1階	算定式	結果	
	12×12 + 7×12 + 21×14	= 522		
	12×12 + 7×12 + 21×21	= 669		
	12×14 + 28×21	= 756		
				210000
				Katsuwo

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。
 なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1) 建築物の配置計画について配慮した点

東: 東側は集合住宅であるため極力開口を設けないように配慮した。
 西: 道路面に対してオープンスペースとなるようご神木公園を中心に全体的にセットバックさせた。
 南: 住棟をI型の配置とし、集合住宅のある西側は9mセットバックしつつ南面を積極的に活用した。
 北: バザーガーデンを商店街に面して広く設け、開かれた施設と感じてもらえるよう配慮した。

図示必須



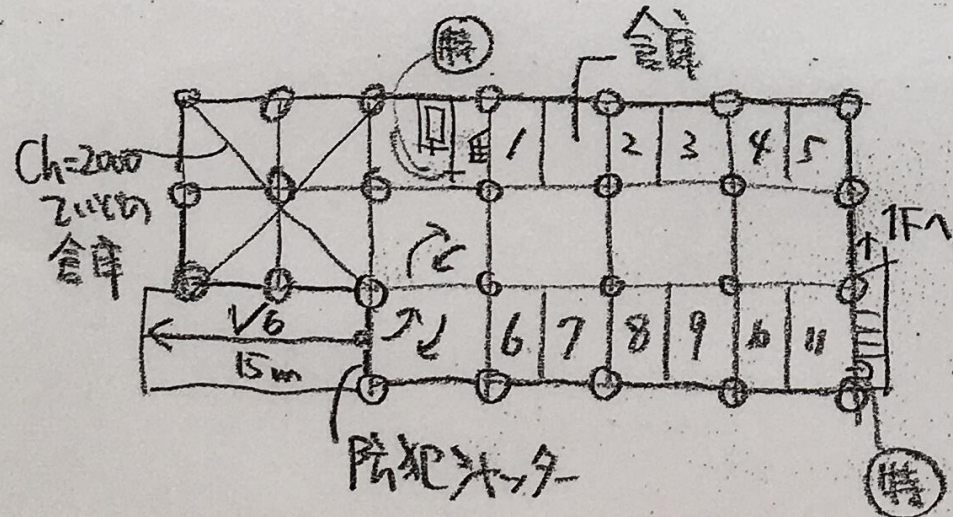
(2) 住戸Aのフリースペースについて配慮した点

在宅用のワークスペースとして利用できるよう、LAN回線、電話回線を配備し、かつ機能的な壁面収納を配備した。またリビングとの開口部にはエアタイトのドアを採用し、リビングでの生活音が邪魔にならないよう防音対策にも配慮した。

(3) 地下駐車場計画の概略(駐車場レイアウト図示含む)

西側スロープから地階に出入りし、1階の床レベルが下がっていない東側4スパンを利用した。
 2方向避難の階段を東側にも備え、安全確保に努めた。1階の市民サービス部門用エレベーター下部は念のため倉庫とした。車路は防犯用シャッターを設けると共に、1階とは異種用途区画した。

駐車場レイアウト図示



※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。

(4) 建築物の構造計画について、その特性に応じて採用した構造種別・架構形式・耐震計算ルートとその選択理由

構造種別: 鉄筋コンクリート構造
 架構形式: ラーメン構造
 耐震計算: ルート1 ・ ルート2 ・ ルート3 (いずれかを選択して○で囲むこと)
 建築物の耐震性能を詳細に評価できるルート3を採用し、保有水平耐力と必要保有水平耐力の比較を行うことで、大地震時の地震動に対する安全性を確保する計画とした。
 (これは不要ですが) 雑壁と柱、雑壁と梁との間にはスリットを設け、靱性が損なわれないよう配慮した。
 耐震スリットと柱壁との接合は面外方向の力に抵抗できるよう差し筋D10を400mmピッチで配置した。

(5) 住戸内設備について配慮した点

空調: 空調はルームエアコンを個々の室に設けた。また換気は全熱交換器を用いた24時間換気を採用し、常時室内環境を保持すると共に、建築環境負荷を低く抑えることに配慮した。
 給排水: MB/PSに設置されている上水管から、軟管ヘッダーを使って、上水の供給を行った。
 排水は、キッチン、洗面、便所からの横引配管が最適となる位置にPSを設けた。
 給湯: ガス給湯器をMB内に配置し、できるかぎり給湯位置とガス給湯器の距離を短くすることで、ロスを防ぐよう留意した。

質問欄